科目名	プ	ログ	゛ラ	ミン	グ演習	IΙΒ									
科目名(英)															
単位数		6単位	<u>դ</u>		時間数		90時間		担当者	川野	啓祐·手嶋隆	之∙正路文徳			
実施年度	2	2020年	度		実施時期	Ħ	後期	担	当者実務	経験					
対象学科・学年										攻2年・情報工学 テムエンジニア専					
授業概要	SDK	(8以降	引こり	aval		開発技術	析や技法を ³]な知識を学ひ ・ストーリー <i>』</i>		ようになる。 己法に基づいた			
授業形式	講義:			演	習: 0	実習:		実技:		※ 主 <i>t</i> :	-る方法:O	その他:△			
	言語 知 情報 技	的 運動能 技能	態度意欲	その他		ı	<u>'</u>		目標	Ę					
	0 @)			Java言語の技法	去(ラムダコ	さや関数オブシ	ジェクト、	ストリームな	ど)とその考え方	を説明できる。				
学習目標 (到達目標)	0 @							_,,,		ど)を利用したソーミングの考え方を					
テキスト・教材 参考図書	Java実践編 アプリケーション作りの基本(翔泳社) 回数 授業項目・内容 授業外学修指示														
授業計画	1-3 第第第第第第 10-12 13-15 16-18 19-21 22-24 25-27 28-30 31-33 34-36 33-39 40-42 43-43-44	5章 5	ロレククダカカカラネート、総 September 1970年の197	ション ション 式 7-1 1 7-2 1 7-2 (KIによ イツク) 進ん:	章の復習 , 5-2 , 5-3 1 2~7-3まで るGUIアプリケ・スとマウスイベスとマウスイベラ10-2 だJavaプログラ	ーション ント 9-1・ ント 9-2・	~9-2	0章ネッ	トワーク	プログラミング理 確認テストの内 総合演習内容を	容を復習しておく	(Z-2			
42 総合演習2															
履修上の注意	USE	3メモリ	を持	参す	-ること。										

科目名	٧	Veb 7	プロ	グラ	ラミング	寅習 I	ΙB									
科目名(英)																
単位数		6単	i位		時間数		90時間	担当者	†	手嶋隆之・丿	野啓祐					
実施年度		2020	年度		実施時期	Ŋ	後期	担当者実務	経験							
対象学科•学年	情: 情:	報システ 報システ	Fム科: Fム科:	プログラ プログラ	ラミング専攻2年・ ラミング専攻アドル	情報シス ベンスコー	テム専攻科シ ・ス1年・情報シ	ステムエンジニア専 ステム専攻科シス	攻2年・情報工学 テムエンジニア専ュ	斗高度ITシステ. 女アドバンスコー	ム専攻2年・ -ス1年					
授業概要	な	プログ	゛ラミン	グ開		践的な	技術力の習				的でより効率的 プリケーションを					
授業形式	講	轰:		演	習: 0	実習:	:	実技:	※ 主た	:る方法∶○	その他:△					
	言語 情報	知的 運動技能 技能	動態度能 意欲				•	目村	票							
	0	0			PDOクラスを	利用して	てデータベー	-スを操作する	ことができる							
学習目標 (到達目標)		©			本格的なWE	Bアプリ [.]	ケーションを	そ作成できる								
		確かた力が身につくPHP「超」入門(SRクリエイティブ)														
テキスト・教材 参考図書	確	確かな力が身につくPHP「超」入門(SBクリエイティブ) 回数 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数				授業	項目•内	容				指示					
					ベースの基本				しっかり復習して	おくこと						
	7-12	Chapte ろ	er6 啓	品一	・覧を表示する	o • Chapt	ter6 商品デ	一タを検索す								
	13-18	Chapte z	er6 陹	品テ	一タを追加す	る・Cha	pter6 商品 ⁻	データを更新す	-							
	19-24	ର Chapte	er6 啓	 「品デ	ータを削除す		pter6 まとめ	<u> </u>								
	25-30	確認テ	スト、				-		確認テストの勉引	角をしておくこと						
		<u>ベース</u> Chapte	•	トイトィ	 へのログイン・	ログアウ	 ウト処理									
	\vdash				報の登録		<i>></i> 1									
授業計画	\vdash				ピングカート、	と気に ス	いい商品を	 · 谷 録する								
	\vdash				·演習1	10 ×(1-)		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	確認テストの勉強	歯をしておくこと						
	\vdash	総合演		小心 口	次日											
		総合演														
	\vdash	総合演														
	\vdash	総合演														
	\vdash															
	\vdash	総合演							課題を提出する							
	(1))矿	在認テ. を下記	スト(á 己の観	点:	副合で評価す	る。				点以下)とす	<u> </u>					
					宣	語情報	知的技能	上 上 運動技能	態度•意欲	 その他	評価割合					
		 研	在認テ	スト		©	©		74 W X W	Ç +2 C	40%					
評価方法			課題演	官習			0	0	0		50%					
		ş	受講物	犬況					0		10%					
履修上の注意	再	試験は	は実が	しな	い。USBメモリ	Jを持参 [・]	すること。									

科目名	٧	Veb7	フロ	ント	エンド演	習B										
科目名(英)																
単位数		4単	位		時間数		60時間		担当者		志水	散				
実施年度		2020	年度		実施時期	Я	後期		担当者実務	経験						
対象学科・学年										攻2年・情報工学 テムエンジニア専						
授業概要		设計工程 ける手法				・ユース(に対応した	:Web	アプリケーシ	ョンのプロトタ	イプを、ツー	ルを用いて作成				
授業形式	講	 義:	Δ	演	習: 0	実習:		実技	支 :	※ 主 <i>t</i> :	る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動技能 技能	助 態度 能 意欲						目標	5						
		0	0							ことができる。						
学習目標 (到達目標)		0			ツールを使っ	ってモバ	イルアプリ	用の	プロトタイプ	を作成するこの	とができる。					
テキスト・教材 参考図書	7															
	回数	オリジナル教材、USBメモリ 4G以上 回数 授業項目・内容 授業外学修指示 フロトタイピングとUIデザイン、XDの基本、XDでオフジェクトをつ														
	2		アイ	コンの	 O作成、テキス	ストや画	 像の扱い									
	3	リピー	トグリ	ッドの	 D利用					使い方を復習し	ておくこと					
	4	共通パ	ーツ	の管	理、グリッド部	定と画	 像書き出し	,								
	5	プロトタ	タイピ	ング												
	6	プロトタ	タイプ	の共	 有					使い方を復習し	ておくこと					
	7	共通バ	パーツ	の作	 成											
授業計画	-	トップへ														
	9	フォー.	ムや	 表の作	 乍成											
	10	プロトタ	タイピ	ングと	ヒデータの整理	 理				使い方を復習し	ておくこと					
	11	課題演	習1							期限までに課題	を完了させるこ。	<u>Ł</u>				
	16	課題演	習2							期限までに課題	を完了させるこ。	<u> </u>				
	21	課題演	習3							期限までに課題	を完了させるこ。	<u> </u>				
	26	課題演	習4							期限までに課題	を完了させるこ。	٤				
	以上		の観	点:	割合で評価す		以上)•B(7	0点以	人上)・C(60,	点以上)・D(59	点以下)とす	· る。				
					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
			課是				0			0		50%				
評価方法	_	5	受講物	犬況						0		50%				
	\vdash															
履修上の注意		再試験に	ま実が	しな	い。USBメモリ	ー Jを持参	 すること。									

科目名	3	ンステ	<u>-</u> 7	開	発演習]	[
科目名(英)																
単位数		3単1	立		時間数		90時間		担当者	志	水徹•川野啓	祐•高橋政博				
実施年度		2020年	F度		実施時期	Ą	後期		担当者実務	圣験						
対象学科•学年											学科高度ITシステ. 厚攻アドバンスコー					
授業概要	す	- 0			義書から外部での実習を主						を作成する技	術習得を目指				
授業形式	講	——— 義:		演	習:	実習:	0	実	 技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動技能 技能							目標	Į.						
		0			与えられたシス	ステム要	件を把握し	た上	で、画面設計書	書を作成できる	5.					
学習目標		0			与えられたシス	ステム要	件を把握し	た上	で、データベー	ス設計書を作	成できる。					
(到達目標)		O			作成した画面	設計書を	を元に、プロ	トタイ	プを作成できん	る。						
		オリジナル教材														
		オリジナル教材														
テキスト・教材 参考図書	オ															
	回数				授業」	項目•内]容				授業外学修	指示				
	1-3	オリエン	ノテー	ーショ	ン 前期の復	習(公欠	で理シス	テム))							
	4-7	データ	Eデ!	ノング	演習											
	8-9	設計応	用演	習(要	[件定義)											
	10	設計応	用演	習(區	画面一覧、画i	面遷移[図)									
	13				面レイアウト											
	16	設計応				нхн17										
	_ 19				・NEI/ Fーブル設計。	CLIRD	·図)									
授業計画	_ 22	設計中				COND	'四 <i>/</i>									
	_ 25															
	31				设計書修正) 。											
	41				プロトタイプ制	作)										
	_	設計最	終レ	ビュ-	_											
	44	設計書	修正													
					る。(2)レビュ・	一を数[回実施する	5。企	:業レビューへ	のやむおえ	ない事情を除	く不参加の場合				
		ヾ幅に減 ニを下記			割合で評価す	る。										
					60点以上)・[以下)とす	る。	ı	1		_				
					言	語情報		能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
== !== -1- +1-			課是				0			0		30%				
評価方法			ビュ				0		0	0		30%				
		▽	講	下 沈						0		40%				
履修上の注意					い。USBメモリ 則参加するこ				ない事情は除	(<) °		1				

科目名	ŀ	ごジネ	ベス	 :	ミュニ・	ケー	ショニ	ンIB								
科目名(英)																
単位数		2単位	立		時	間数		30時間	担当者	i	川原ユ	ウジ				
実施年度		2020年	F度		実施	時期		後期	担当者実務	経験						
対象学科•学年								弘工学科2年・ ▲専攻科アドバ								
授業概要									·	力」を高めるヨ	ミ践的な演習	を行う。				
授業形式	講	義: 4	Δ	演	習: (0 3	実習:	5	 €技:	※ 主力		その他:△				
	言語情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他					目相							
		0	0		プレゼン	ノテーシ	ョン技	法の基礎を	説明できる。							
学習目標		0	0		相手に	伝わるこ	ことを意	意識したプレ	ゼンテーション	ノができる。						
(到達目標)																
トキスト・教材 参考図書	=	プレゼンテーション技法(株式会社ウイネット 刊) 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数															
	1	授業項目・内容 授業外学修指示 プレゼンテーションとは何か														
	2	プレゼン														
	3	企画立:	プレゼンテーションツール作成の基礎知識 企画立案・情報収集法													
	4	プレゼン	ノテー	ーショ	ンツール	別プレ	ゼンテ	ーションの	留意点							
	5	①プレも	ゼン汎	寅習	チーム	ここかが	れて1	と画立案・情	報収集	作成準備を事前	「に行っておくこと	٤.				
	6	①プレも	ゼンジ	寅習	発表会	<今0)気持	ちを正直に	 話す>	発表練習を事前 出。	『に行っておくこと	と。プレゼンシート提				
1-5 Alla = 1	7	②プレも	ゼンジ	寅習	チーム	ここかか	れて1	企画立案・情	報収集	作成準備を事前	『に行っておくこと	٤.				
授業計画	8	②プレt	ゼン治	寅習	発表会	くわ た	いりやす	すく話す>		発表練習を事前 出。	『に行っておくこと	と。プレゼンシート提				
	9	③プレも	ゼンジ	寅習	チーム	ここかが	れて1		報収集	作成準備を事前	『に行っておくこと	٤.				
	10	③プレも	ゼンジ	寅習	発表会	<自由	由に発			発表練習を事前 出。	『に行っておくこと	と。プレゼンシート提				
	11	④プレ t	ゼンジ	寅習	チーム	ここかが	れて1		報収集	作成準備を事前	「に行っておくこと	-0				
	12	④プレ t	ゼン別	寅習	発表会	<売∤	ເるプレ	 レゼン>		発表練習を事前 出。	「に行っておくこと	と。プレゼンシート提				
	13	(5)プレt	ゼンジ	寅習	チーム	ここかか	れて1		 請報収集	。 作成準備を事前	「に行っておくこと	50				
	14	(5)プレt	ゼンジ	寅習	発表会	くネッ	トで集	めたデータ	を分析する>	発表練習を事前 出。	「に行っておくこと	と。プレゼンシート提				
	15	まとめ								ш。						
	以」	上を下記	の観	点:	題を数回 割合で評 90点以」	価する	0	上)•B(70点	点以上)・C(60 ·	_ 点以上) • D (59	9点以下)とす	⁻ රිං				
						言語	情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
== /= _		課題・し			是出			0		0		50%				
評価方法			講り	八儿						0		50%				
履修上の注意	 	耳試験は	実施	しな	l۱°											

科目名	7	ネット	ワ-	一ク	7 II B											
科目名(英)																
単位数		10単	位		時間	引数		150時間		担当者	7	高倉美哉・久	保山大地			
実施年度		2020年	F度		実施	時期		後期		担当者実務網	圣験					
対象学科•学年													ーク・セキュリティ専			
授業概要	ド												ティング、IPv6ア :演習を通して学			
授業形式	講	義:	0	演	習: 🗡	2 実	習:		実担	支:	※ 主た	-る方法:O	その他:△			
	言語 情報	知的 運動技能 技能				<u> </u>		L		目標	i					
	0	0			ルーティン	グ、IPv6ア	アドレス	. DHCP N	AT, A	CLに関する基本	ト用語、仕組みを	説明できる。				
学習目標	0	0			ルーティン	グ、IPv6ア	アドレス	, DHCP, NA	AT, A	CLに関する基本	卜設定、動作確認	いができる。				
(到達目標)	0	0			ルーティン	グ、IPv6ア	ドレス	, DHCP, N	AT, A	CLに関するトラ	ブルシューティン	グができる。				
テキスト・教材 参考図書	往															
	回数															
	1-5	7-1 Ciscoルータの初期起動、7-2 ルータの基本設定、7-3 ルータの基														
	6-10	7-1 Ciscoルータの初期起動、7-2 ルータの基本設定、7-3 ルータの基本設定の確認 -5 14-1 Ciscoデバイスの管理機能、14-2 Ciscoルータの管理、14-3 Cisco														
	11-15	14-5 NT	<u>−ジ</u> 0 アに。	D管理 よる時	<u>₹、14−4 コン</u> 刻動機、1	ンフィギュ 4-6 Cisc	ュレー: co IOS	ションファイ イメージの	ライ) <u>管理</u> センス、14-7	演習課題のエビ	デンスを提出す	ること。			
	_	ハスワー				-		. 45								
					8-2 スタテ											
					ーティング			-	7 \ /1 /	A N 188 11	方羽 田 のっぱ	ゴ 、 コナ 担 山 士	7 - 1			
	26-30	8-5 メト・ ング	リツク	2	ミーストレー	ーティン	アイ 人:	タンス、9- <i>1</i>	V V LA	ANI町ルーティ	演習課題のエビ	アンスを提出す	る こと。			
 授業計画			/6のホ	既要、	15-2 IPv6	アドレス										
1文未計 凹	36-40	15-3 IPv	/6の3	主要フ	゚゚ロトコル、	15-4 IPv	/6アド	レスの設定	≧と検	証						
	41-45	15-5 IP\	/6/レ-	ーティ	ング						演習課題のエビ	デンスを提出す	ること。			
	46-50	10−1 IP\	/4アク	フセス	リストの概	———— 要、10−2	2 ワイ.	ルドカード ⁻	マスク	 ל						
	51-55	10-3 番	号付	き標準	≛ACL、10-	-4 名前作	寸き標	準ACL								
	56-60	10-5 AC	Lの‡	金証、	10-6 ACL	のトラブ	ルシュ	 _一ティング			演習課題のエビ	デンスを提出す	ること。			
	-							NATŁPA		 野要						
					11-4 PAT											
							Ρ ΔΤ <i>Π</i>)トラブルシ	, , , <u> </u>	テング	演習課題のエビ	デンスを提出す	ること。			
	(1)z 以上	トンライン とを下記	ン試験の観	験を数 点・書	女回実施で 割合で評値	<u></u> する。(西する。	2)演	習課題のご	エビ	デンスを評価	<u> </u> iする。(3)授: 点以上)・D(59					
						言語情	青報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
		オン	ライン	ン試馬	负	0		0					50%			
評価方法			習語					0		0			40%			
		受	詩制	犬況							0		10%			
履修上の注意																

科目名	-	サーノ	% -	-構	築•運用	演習	習 I B									
科目名(英)																
単位数		6単位	立		時間数		90時間		担当者	7	高倉美哉・久	保山大地				
実施年度		2020年	F度		実施時期	ı	後期		担当者実務	経験						
対象学科•学年										□攻2年・情報工学 ジニア専攻アドバン		ーク・セキュリティ専				
授業概要	굍		。仮?	想化	支術であるVa							otの設定方法を ーネットサーバー				
授業形式	講	義: (0	演	習: △	実習	:	実	技:	※ 主た	:る方法:O	その他:△				
	言語 情報	知的 運動技能 技能	態度意欲						目標							
	0	0			Sambaの仕糸	且みを	理解し、San	nba0	の基本設定が	べきる。						
学習目標	0	0			Mailの仕組み	を理解	解し、Postfi	よはx	びDovecotの	D基本設定が [・]	できる。					
(到達目標)	0	0			Vagrantの仕											
	0	0			Dockerの仕組	組みを	理解し、Doo	cker:	環境における	「インターネット	・サーバーの	設定ができる。				
_+ -1 #++																
テキスト・教材 参考図書	С															
	回数	Sambaサーバー: Sambaの仕組み、Sambaインストール、Samba基本設														
	1-3	Sambaサーバー・Sambaの仕組み、Sambaインストール、Samba基本設														
	4-6	³ 定 ₋₆ Sambaサーバー: smb.conf構文チェック、Sambaユーザー管理														
	7^9	Sambaサーバー演習のエビデンスを提出すること														
	10-12	Sambaサーバー: 共有の作成、ユーザーディレクトリ公開 Sambaサーバー演習のエビデンスを提出すること。 Mailサーバー: メールの仕組み、Dovecotインストール														
	13-15	Mailサー	バー	:Pos	tfix基本設定、[Ooveco	t基本設定									
	16-18	Mailサー	バー	:メー	ラーの設定、SI	MTP⊐	マンド、POP=	コマン	゚゚゚	Mailサーバー演	習のエビデンスを	を提出すること。				
	19-21	Vagrant:	: Vagı	rant <i>σ</i>)仕組み、box、	vagrant	tfile									
授業計画					 動、接続、停止。											
	25-27		技術	:Doc	kerの仕組み、[ocker-	インストール、	Doc	kerイメージ							
	28-30	取得コンテナ	技術	: 設定	、起動、接続、		訓除. Docke	rイメ·	 ―ジ作成							
					サーバー	1, 11	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		2 11 750	DNSサーバー演	習のエビデンス	を提出すること。				
					サーバー(Apa	-ha)				Webサーバー(A	pache) 演習のコ	ビデンスを提出する				
	-				•					こと。 Webサーバー(N	ginx)演習のエヒ	デンスを提出するこ				
					サーバー(Ngin	x)				と。 Sambaサーバー	- 演習のエビデン	スを提出すること。				
					baサーバー					Mailサーバー演						
	43-45	コンテナ	技術	: Mail	サーハー											
	以」	た下記	の観	点:	副合で評価す	る。				iする。(3)授語 点以上)・D(59						
					言	語情報	日 知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
		オン			ф	0	0					50%				
評価方法			習詩				0		0			40%				
			講り	大況						0		10%				
履修上の注意					l		,									

科目名	3	ンス	テ.	싀	荆:	発演習	I							
 科目名(英)														
単位数		3 i	単位			時間都	数		90時間		担当者		高倉美哉·久	
実施年度		202	0年月	 芰		————— 実施時	 期		後期		担当者実務組	経験		
対象学科・学年													学科高度ネットワ ベンスコース1年	一ク・セキュリティ専
授業概要	題	銭的な	環境	で体	Þ験		運用							用監視業務を実 、て顧客に適切に
授業形式	講	義:			演	말:	実	習:	0	実	技 :	※ 主	たる方法:〇	その他:△
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他						目標			
	0	0									吾を説明できん			
学習目標 (到達目標)	0	0									ントを作成でき			
(到是日禄/	0	0						-			は用語を説明 と書を作成↓	-	 ナーを意識し ⁻	 ア起生できる
	Н			+		ネグドノ	ノ连爪	血忱	10 天 ソイ	א±וג ⊏	するでは次し	、こンホスマ	/一を忠誠し	てませてらる。
テキスト・教材 参考図書	回数 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数					授美	業項目	•内容	}				授業外学修	指示
	1-6	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ1(物理	理設計)						
	7-12	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ1(論3	理設計)						
	13-18	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ1(セニ	キュリテ	イ設計	†)					
	19-24	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ1(高す	可用性	設計)						
	25-30	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ1(管理	理設計)				シナリオ1の調 ること。	題を提出すること	:。レビューの準備をす
	31	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ1(レヒ	゛ュー、	フィー	ドバック)			3 – 2 0		
177 Alle = 1	32-34	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ2(予(備知識	講義)						
授業計画	35-36	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ2(設調	†)							
	37-38	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ2(構象	築)							
	39-44	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ2(運)	用監視)				シナリオ1の調 ること。	題を提出すること	:。レビューの準備をす
	45	ネット	ワー	ク設詞	計シ	ナリオ2(レヒ	゛ュー、	フィー	ドバック)			0-20		
	は大以上	に幅に -を下	減点記の	(する)観点	, o。 ā•害	る。(2)レビ 引合で評価 30点以上)	する。				業レビューへ	· のやむおえ	ない事情を除	〈不参加の場合
						-	言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
				果題					0			0		30%
評価方法				ニュー					0		0	0		30%
			又部	黄状 》	·兀 							©		40%
履修上の注意						ハ。USBメ 1 川参加する					ない事情は除	·<)。	1	I

科目名	=	++	7IJ	ア・	デサ	ゲイン										
科目名(英)																
単位数		2	単位			時間数	Ż .	30時	間	4	担当者		高倉美	哉		
実施年度		202	20年	度		実施時	期	後期	FI	担当	者実務網	圣験				
対象学科•学年	帽	青報シ	ノスラ	テム	専攻	 科2年、情報	システ	ム科アド	バンス1	1年						
授業概要	才	え 職男	更 受	付面	接に	出する履歴 合格し、面持 みができる。	妾試験			できる。	0					
授業形式	講	義:	()	演	習: △	実習	물:	実	技:		※ 主	たる方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他						目標					
	0	0				就職採用試						- •				
学習目標 (到達目標)	0	0	0	0		求職票受付	面接	こ合格し、	面接試	試験を受	受ける準	≛備ができる	0			
テキスト・教材 参考図書	な	îL														
7 0.11	回数	なし ・ 授業項目・内容 授業外学修指示														
		型数 授業項目・内容 授業外学修指示 1 就職活動の流れ、就職活動のルールを知る														
		2 業界研究① IT業界の基礎														
												社会人基礎力	について調査する)		
						業界で活躍す								デシートを記入する デシートを記入する		
	5					まの自分と向)				37013371		1 2 107 1 7		
	6					の自分と向き						5年後 10年	後の自分の姿を予	相よる		
授業計画	7					来の自分と向	可き合う	<u> </u>				自己PRを完成		18.9 O		
	\vdash					自己PR						業界志望理由				
						業界志望理(展歴書を完成				
	10	履歴	書作	作成	3 #	亟味•特技•∜	持記事	項				履歴書を元队	<u> </u>			
	11	求職	標	受付	面接	練習①入	退室の	所作								
	12	求職	き票数	受付	面接	練習② 自記	∃PR•	志望理由	の受け	ナ答え 						
	13	求職	標	受付	面接	練習③ 自記	2PR∙	志望理由	の掘り	下げ						
	14	求職	標	受付	面接	練習振り返り	IJ									
	15	企業	説明	明会	• 入ネ	土試験時のマ	マナー									
	以上	<u>-</u> を下	記	の観	点:	。(2)求職票 引合で評価す 60点以上)・	ける。									
						į	語情	報知的	技能	運動	技能	態度•意欲	その他	評価割合		
			履歴	を書き	提出		0		0					30%		
評価方法		求			付面	接	0		0	(0	0		50%		
			受	講状	沈							0		20%		
													1			
履修上の注意	再	試影	剣は!	実施	しな	l,				<u> </u>		<u> </u>		1		

科目名	t	ビジネスコミュニケーション Ⅱ B														
科目名(英)																
単位数		2 i	単位	Ī.		時	間数		30時間		担当者		川原ユ	ウジ		
実施年度		202	0年	度		実施	施時期		後期	ŧ	旦当者実務	経験				
対象学科•学年	惶	報工学	学科2	年、忄	青報シ	ステム専	攻科2年	、情報シ	ステム科2年	、情報	システム専攻	科アドバンスコース14	∓、情報システ <i>ム</i>	▲科アドバンスコース1年		
授業概要	7	プレゼ:	ンテ	ーシ	⁄ョン	技法の	基礎を	正しく理	[解し、「話	す力.	」、「伝える)	力」を高める実	ミ践的な演習	を行う。		
授業形式	講	義:	Δ	7	演 [:]	習:	0	実習:		実技	:	※ 主た	-る方法:O	その他:△		
	言語 情報		運動 技能	態度 意欲	その他		<u>'</u>		<u>'</u>		目標	<u> </u>				
		0		0		プレゼン	ノテーシ	ノョン技	法の基礎	を説明	明できる。					
学習目標 (到達目標)		0		0		相手に	伝わる	ことを意	意識したプロ	レゼン	ノテーション	vができる。 				
	_															
テキスト・教材 参考図書	7	プレゼンテーション技法(株式会社ウイネット 刊) 授業項目・内容 授業外学修指示 1 プレゼンテーションとは何か														
	回数															
	1	WWW.111.4.4.														
	2	1 プレゼンテーションとは何か														
	3	企画.	立案	₹•情	報収	又集法										
	4	3 企画立案・情報収集法														
	5	①プ I	レゼ	ン淳	習	チーム	ふに分れ	かれて1	企画立案•′	情報」	 収集	作成準備を事前	「に行っておくこと	: •		
	6		レゼ	ン淳	習	発表会	<今(の気持	ちを正直に	こ話す	->		「に行っておくこと	こ。プレゼンシート提		
	7	②プI	レゼ	ン淳	習	チーム	ふに分れ	かれて1	企画立案•'	情報」	 収集	出。 作成準備を事前	「に行っておくこと	- 0		
授業計画	-								 すく話す>			発表練習を事前 出。	「に行っておくこと	<u>:</u> 。プレゼンシート提		
	9	③プI	レゼ	ン シ ジ	習	チーム	ふに分れ	かれて1		情報」	 収集	作成準備を事前	「に行っておくこと	- 0		
	10		レゼ	ン淳	習				想する>				「に行っておくこと	こ。プレゼンシート提		
	11		レゼ	ン淳	習	チーム	ムに分れ	かれて1	企画立案•′	情報」	 収集	出。 作成準備を事前	「に行っておくこと	: •		
	12	(4)プI	レゼ	ン淳	習	発表会	<売	ーーー れるプレ	 ノゼン>				「に行っておくこと	こ。プレゼンシート提		
	13		レゼ	ン淳	習	チーム	ムに分れ	かれて1		情報」	 仅集	出。 作成準備を事前	「に行っておくこと	: •		
	_								めたデータ				「に行っておくこと	こ。プレゼンシート提		
		まとぬ										出。				
	以上	-を下	記の)観.	点•害	題を数回 削合で評 90点以	価する	00	L上)・B(70)点以	上)·C(60,	」 点以上)•D(59	点以下)とす	·る。		
							言語	情報	知的技能	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
		課題				出			0			0		50%		
評価方法	_		受	講状	況							0		50%		
	_															
履修上の注意	4	 手試験	はほ	実施	しな	l'.				·						

科目名	ネットワーク	概論													
科目名(英)															
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者		髙倉美									
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務	経験										
対象学科•学年	情報工学科2年、情	- 報システム専攻	:科2年、情報シ	ステム科2年、	情報システム和	斗アドバンス:	コース1年								
授業概要	TCP/IPネットワーク データ転送の仕組る					ーションソフト	を使用して、								
授業形式	講義: 海	習: △ 実	習: 9	 実技 :	※ 主た		その他:△								
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲 その他	<u> </u>	<u> </u>	目標	<u> </u>										
		IPアドレス、サブ			化の計算がで	きる									
学習目標 (到達目標)		要求に応じて、小			l = 11 = 01 > =	-=400+7									
(判廷日1宗/		telnet、DNS、HT OSI参照モデルの				. 説明できる									
		O3195 MR C 7 700	<u> フロレイ (0) 1寸 (</u>	女子 記り くこる											
テキスト・教材 参考図書	Get! CompTIA Network+ (翔泳社) 回数 授業項目・内容 授業外学修指示 1- ネットワーク通信														
	回数 授業項目・内容 授業外学修指示 1- よットワーク通信														
	1- ネットワーク通信														
	1- 2 ネットワーク通信 3- OSI参照モデル(1)														
	2 3-														
	6				OSI参照モデルの	の各レイヤの特征	数をまとめる								
	9- IPアドレス(1)			,											
	10 "アドレス(2)														
	13 IPアドレス(3)														
授業計画	- !! ファレス(3)				IPアドレスの計算	算練習を行う									
	17 ルーティング(1)														
	- パーティング(2)														
	21 ルーティング(3)				ルーティングの仕	±組み・特徴や用	目語をまとめる								
	23 スイッチング(1)														
	25 スイッチング(2)				スイッチングの仕	└組み・特徴や用	語をまとめる								
	- スペラテンティンティンティンティンティンティンティンティンティンティンティンティンティ	 エデル、IDアドレ	7												
	- 復音 OSI参照 29 復習 — ルーティ														
	(1)授業の中で小テス 以上を下記の観点・害 成績評価基準は、S(9		。(2)課題・レポ												
		言語情	報 知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合								
	定期試験(筆記		0				50%								
評価方法	小テスト	0	0				25%								
	課題・レポート	,			0		25%								
履修上の注意															

科目名	電	子	ソフ	トウ	ェア技	祈										
科目名(英)																
単位数		<u>1</u> 8	単位		時間	間数	1	20時間	担当者	Ť	浜地科	李				
実施年度		202	0年度		実施	時期		後期	担当者実務	経験						
対象学科·学年					テムエ学! システム専		情報シ	ノステム専攻	科 電子シス [・]	テムエンジニア	専攻 2年、					
授業概要								理技術につ 、2の範囲を		問題を解くこと	こで知識を深め	o a .				
授業形式	講義	轰:	0	演	習:	実習	冒:	実	 技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 技能		態度		l			目	票						
		0			ETEC(J/	ASA組込	みソフ	トウェア技 行	術者試験)ク	ラス2の範囲	の用語を説明	できる。				
学習目標		0			ETEC(J/	ASA組込	みソフ	トウェア技?	術者試験)ク	ラス2の問題	こ正解すること	ができる。				
(到達目標)																
 テキスト・教材	L-7	L > , .	₩ + 1 1	1 、 幺日:	コュシフェ	テルの木	(D III	ᅡᅮᆇᆩᄩᅼ	+)							
参考図書																
	回数	回数 授業項目・内容 授業外学修指示														
	1-4															
	5-8	1-4 マイコンの誕生から今日まで														
	9-12	1 2 2 2 2 2														
	13-16	組辽	しみシ	ステム	の設計手	法										
	17-20	組辽	ムみシ	ステム	の設計実	務 ハー	ドウェ	ア								
	21-24	組辽	ムみシ	ステム	の設計実	務 ソフト	ウェ	7								
m 444 =	25-28	組辽	ムみシ	ステム	の設計実	務 テスト	ヽ、デ	バッグ								
授業計画	29-32	安心	いして何	 吏える約	組込みシス	ステム 信	頼性									
	33-36	安心	いして何	 吏える約	組込みシス	ステム 安	マ全性	 対策								
	37-40	組辽	いみシ	ステム	の製品化					ここまでの講	も	ること				
	41-44	練習	間題((1) 技	 術要素1											
	45-48	練習	間題((2) 技	術要素2											
	49-52	練習	引問題((3) 技	 術要素3											
	53-56	練習	間題((4) 開	発技術											
	57-60	練習	問題((5) 管	理技術											
	以上を	を下言	記の観	i点·割	合で評価	する。)受講状況を ()・C(60点以	評価する。 上)・D(59点	以下)とする。					
						言語情	報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
			定期					0				60%				
評価方法			小テ 受講					0		0		20%				
			文神	1人元								20%				
履修上の注意																

科目名	電	子	回	路											
科目名(英)															
単位数		4 <u>1</u>	単位			時間	数		60時間		担当者		古賀 章	章司	
実施年度		202	0年月	吏		実施問	期		後期	担	当者実務網	圣験			
対象学科·学年						テム工学専 ノステム専項		情報	システム専攻	科官	電子システ	ムエンジニア専	享攻 2年、		
授業概要	電	子部,	品の	機能	や回	回路の仕組	みを理	解す	る。回路を実	実際	に作成して	て理解を深め	ర ం		
授業形式	講乳	轰:	C)	演	習: △	実	習:	実	技:		※ 主た	:る方法:O	その他:△	
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他		1				目標				
		0				組込みソ	フトウェ	ア開	発者に必要な	な電	子回路の	基本的な仕組	且みを説明で	きる	
学習目標		0							説明できる						
(到達目標)		0				抵抗、ダイ	イオード	、コン	ノデンサ、トラ	ランシ	ジスタの役	割が説明でき	きる		
			\++ 1=*	· - =	5 7		<u> </u>	4 11		-18					
テキスト・教材 参考図書									本編 vol.1(本編 vol.2(
	回数														
	1-2	-2 キットの説明、パーツの確認、シール貼り、LED点灯・消灯													
	3-4	-2 キットの説明、パーツの確認、シール貼り、LED点灯・消灯 -4 VR(可変抵抗器)、電気の3要素とオームの法則													
	5-6	1.													
	7-8	ダイ	オー	ドを	利用	した回路	1								
	9-10	ダイ	オー	ドを	利用	した回路2	2								
	11-12	コン	デン	サ、 <u>i</u>	単純	CR回路									
	13-14	CR	回路									ここまでの講義	内容を復習する	こと	
授業計画	15-16	トラ	ンジス	スタ	タイ	マ回路、電	 『流増 [†]	富回路	 各						
	17–18	トラ	ンジス	スタ	LEC	調光回路			-						
						らセル、ダ-		 ン回記	 路						
						モータ制徒									
						 レチバイブ									
						リッキングス		-タ				ここまでの講義	内容を復習する	تك	
	27-28	-		-		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
	29-30														
	(1)定 以上	 期試! を下言	験(筆 記の都	観点	·割·	合で評価す	ける。		・B(70点以上			└ 評価する。 Ŀ)・D(59点以	下)とする。		
							言語情	報	知的技能	運	動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
				月試馬					0					60%	
評価方法				夏提出					0					20%	
			受 請		г							0		20%	
履修上の注意										ı				ı	

科目名	組:	込み	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	コク	ブラミンク	ブ演習	lΠ							
科目名(英)														
単位数		4単位	Z		時間数		60時間	担当者		山下文	夫			
実施年度	2	2020年	度		実施時期	玥	後期	担当者実務網	経験					
対象学科·学年					テムエ学専攻 レステム専攻		最システム専攻	科 電子システ	ムエンジニア専	攻 2年、				
授業概要	きる	力を付	ける。	゚ヮ゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゚゙	グラミング演	習を行い		的に学ぶ。ま			コーディングがで 力認定試験2級			
授業形式	講義	:	Δ	演	習: 0	実習:	実	 技:	※ 主 <i>t</i> =	る方法:〇	その他:△			
学習目標 (到達目標)	情報	知的 運動能	態度	その他	-		だコードの動き だプログラムi							
テキスト・教材 参考図書	新•明	月解C言	語,	入門	編(SBクリエ	イティブ)								
授業計画	新・明解C言語 入門編(SBクリエイティブ) 回数 授業項目・内容 授業外学修指示 1-2 ポインタとは、オブジェクトとアドレス 3-4 アドレス演算子、間接演算子 5-6 ポインタと関数 7-8 関数の引数としてのポインタ 9-10 scanf関数とポインタ 11-12 ポインタの型、空ポインタ 13-14 ポインタと配列 15-16 間接演算子と添字演算子 17-18 配列の受渡し 19-20 文字列とポインタ 21-22 ポインタによる文字列の操作 23-24 文字列を扱うライブラリ関数 ここまでの講義内容を復習すること ここまでの講義内容を復習すること ここまでの講義内容を復習すること ここまでの講義内容を復習すること ここまでの講義内容を復習すること													
評価方法	以上を	下記の 価基準 定	制試り	、割・ S(90 験 ト	合で評価する 点以上)・A(8	5 。			受講状況を評 上)・D(59点以 ⁻ 態度・意欲		評価割合 60% 20%			
履修上の注意		受	講状:	况					0		20%			

科目名	シ	スラ	テム原	開多	E演習 I										
科目名(英)															
単位数		3単	单位		時間数		90時間	担当者		高橋政	博				
実施年度		2020)年度		実施時期	1	後期	担当者実務	経験						
対象学科·学年					テムエ学専攻 : レステム専攻 2		段システム専攻	科 電子システ	ムエンジニア専	攻 2年、					
授業概要	を覚	学習し	、マイニ	ンの	仕組みを理角	解する。	開発演習テー	マの開発をス		計、製造、テ	様書の読み方 ストのプロセス				
授業形式	講義	養 :	Δ	演	習:	実習:	O 実	 技:	※ 主た	る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他		ı		目標							
		0					製造、テストの								
学習目標		0							規開発できる						
(到達目標)		0			回路図やハ-	ードウェ	アマニュアルを	を読んで内容	を理解できる						
 テキスト・教材	=+	- 7 h	. LIO /T:.) / 7 /	<u> </u> イコン完璧マ <i>=</i>	7 11.	(COHRE\$ +)								
参考図書															
	回数														
	1-3	1-3 マイコンボードの仕組み													
	4-6														
	7-9	プロ	グラムの	ORO	M化手法										
	10-12	割込	み処理	の基	礎知識										
	13-15	マイ	コンのノ	\ —F	゚ウェアマニュ	アルと回	路図の読みフ	5							
	16-18	LED.	, LCD,	I/O∤	ポート制御				プログラムの作品	述手順を復習す	ること				
m 444 =	19-21	割り	込み処3	理											
授業計画	22-24	開発	演習テ	ーマ	の仕様理解										
	25-27	プロイ	グラム記	设計											
	28-30	プロ	グラム記	设計し	 /ビュー										
	31-33	プロ:	グラム 3	ミ装1											
	34-36	プロ	グラム 3	€装2	2										
	37-39	プロ	グラムコ	1ード	レビュー										
	40-42	プロ:	グラムテ	ースト											
	43-45	開発	演習振	り返	Ŋ				開発演習振り返	りレポートを作り	 すること				
	以上を	を下記	己の観点	i·割	「る。(2)開発派合で評価する うに以上)・D() _o		を提出する。(3)受講状況を	評価する。					
					言	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
			成果物				0				40%				
評価方法			レポー				0				30%				
			受講状	況					0		30%				
履修上の注意	再記	式験に	ま実施し	ない	0										

科目名	シブ	ステ	<u>٠</u>	開	発	芯用 技	支術									
科目名(英)																
単位数		6単	位			時間	『数	90時間		担当者		久家政	7人			
実施年度		2020	年度	ŧ		実施	時期	後期		担当者実務	経験					
対象学科・学年	情報	シスラ	テムを	科プ	ログ	L ラミング専	 厚攻アドバ	ンスコース	2年							
授業概要	開発	こおし	ハて	は、	寅習	課題の作	成を通し	、Webフォー	-ムの		-タベース連携		でを習得する。 、出力、セッショ			
授業形式	講義	:			演	習:	実習	3:	実	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		•		•	目標						
	0	0									去が説明でき	る。 				
学習目標 (到達目標)		0		0		自力でア	アプリケー	ションの開	発がて	できる。						
テキスト・教材			, _			. 7 5	30 / ** 									
参考図書	PHP	フレー	-ム'.)— <u>'</u>	7 L	aravel人「	門(秀和シ	/ ステム)								
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示 PHP概要説明、環境構築、PHPプログラミング基礎 制御構造とコントロール 環境構築を終了させておくこと														
	1~3	PHP概要説明、環境構築、PHPプログラミング基礎 制御構造とコントロール 環境構築を終了させておくこと														
	4~6	お 制御構造とコントロール 環境構築を終了させておくこと														
	7~9	関数を使いこなす(1)														
	10~12	関数を使いこなす(1)														
	13~15	ファ	イル.	入出:	カ											
	16~18	デー	-タベ	ース	の基	本と操作①	D									
	19~21	デー	-タベ	ース	の基	本と操作②	2									
授業計画	22~24	実践	も	プロ	グラ.	ム開発										
	25~27	課題	10年月	ţ												
	28~30	フレ	ーム	ワー	ク演習	習 基礎知	1識 ルー	ティングとコ	ントロ・	ーラ	PHPの基礎知識	を復習しておく	こと			
	31~33	フレ	ーム	ワー	ク演習	習 ビュー	とテンプレ-									
	34~36	フレ	ーム	ワー	ク演習	習 Eloque	nt ORM									
	37~39	フレ	– Д	ワー	ク演	習 RESTf	ul セッショ	ン								
	40~42	フレ	ーム	ワー	ク演	習 ペジネ	ーション ፤	認証								
	43~45	総合	演習	3												
	以上を	下記(の観	点:	割合 [·]	で評価す	る。 A(80点以.	上)•B(70点		態度を考慮す :)・C(60点じ	⁻ る。 (上)・D(59点	以下)とする	5			
	<u> </u>	h== -		/	1 c÷- 1 '	- -\	言語情報			運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
評価方法	fri	在認う		·(1但 !提出	-	也)	0	0			0		30% 60%			
計順力法	<u> </u>	出席物				芰					©		10%			
	=⊞ 8≥ 1	-~'	17	1 4 # 0	7 17 -	<u> </u>	ᄪᄼᅜᅗ	進士法よこ	+51 \ ¹		: ±+_1++±===	=+_(+\6 +==	晒 ナ 訊 / ユ フ 1日			
履修上の注意	がある	5。					場合や基		ر4 له ۱ _۱ ۲	あ古は、滅兵	はまたは補首す	くだい返加謎	題を設ける場合			

科目名	卒氵	業研	肝穷	ζВ													
科目名(英)																	
単位数		9単	位			時間	間数	:	270時間		担当者		久家政				
実施年度		2020	年度	Ę		実施	時期		後期		担当者実務	経験					
対象学科・学年	情報	シスラ	テムマ	科プ	ログ [·]	L ラミング専	<u></u> 厚攻アドバ	バンス	スコース :	 2年							
授業概要	チームぶ。	ムで閉	発	にお	ける	スケジュー	ール調整	やメ	ンバーと	のコ				との重要性を学			
授業形式	講義	:			演	習:	実習	習:		実技	支 :	※ 主力	-る方法:O	その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的 技能 O	連動技能	態度欲	その他	アプリケ-	ーションに	つい	ての各種ド	キュ	メント作成が	開発・テストが できる。		ーションができる。			
テキスト・教材 参考図書	オリジ	ジナル	プリ	レト	(授美	業レジュメ	人 及び演習	習)									
	回数		ナルプリント(授業レジュメ及び演習) 授業項目・内容 授業外学修指示 卒業研究概要説明、企画書振り返り 前期に作成した企画書を見直しておくこと 外部設計書作成1														
	1-9	卒第	卒業研究概要説明、企画書振り返り 前期に作成した企画書を見直しておくこと 外部設計書作成1														
	10-18	外音	外部設計書作成1														
	19-27																
	28-36		外部設計書作成2 期限内に外部設計書を提出すること 内部設計書作成1														
	37-45					2、設計l	ノビュー(企業	連携)			期限内に内部記	設計書を提出する	ること 			
	46-54		グラ														
+∞ ** =1 元	55-63		lグラ lグラ														
授業計画	64-72		ンフ ログラ														
	73-81 82-90		バンフ														
	91-99		ゾラ		-												
	100-	-					-(企業連排	堆)									
	108 109-	テス			<i>/</i> / \	<i>V</i>	(正术廷)	175/									
	117	テス										期限内にテスト	報告書を提出す				
	126 126- 135	1		查、占	最終:	プレゼン -	テーション	ノ、発	表レビュ	—(1	企業連携)		是出成果物を提				
	行う。 (4)授業! 以上を	態度 [:] 下記 <i>0</i>	を考 D観	慮す 点•a	つる。 割合	で評価す	う(50 <u>占</u> 以	下),	レ す る					· ファーンョンを			
		 チー』	1. W .		ᆲ		言語情	報	知的技情	毛	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合 30%			
評価方法			ムTF 出月			z						0		30%			
H1 1m25 /m4			個人		-				0			0		30%			
		‡	授業	態度	Ę							0		10%			
履修上の注意	出席[回数? 	を授	業態	度 σ)評価にた	加味する。	0									

科目名	提到	案多	巨路	も シェスティ とうしゅ しょう	習	I											
科目名(英)																	
単位数		2単	並			時間	数	30時間		担当者		久家政	大人				
実施年度		2020	年度	Ę		実施	時期	後期	╛	担当者実務網	経験						
対象学科・学年	情報	システ	テム	科プ	ログ	L ラミング専	 攻アドバン	スコース 2	2年								
授業概要	ある。 は重要	顧客	から: る。:	ニー <i>;</i> 本科	ズを間 目でI	引き取るイン ま提案型シ	vタビュー型コ ·ステム開発の	ミュニケー? D必要性や	ションイング	ノスキルと、シ タビュー型コミ		として提案書と の基本を	ズの把握、分析で:してまとめる能力				
授業形式	講義	:			演	習:	実習:		実技	支 :	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
学習目標 (到達目標)	含語情報	知的技能	運動技	態意欲		システムシステム		なコミュニ	ケー	-ションができ		5 .					
テキスト・教材 参考図書	オリシ	ジナル	レプリ	レト	(授	業レジュメ	及び演習)										
	回数		授業項目・内容 授業外学修指示 ・ウステム開発手順の復習 提案型/問題解決型システム開発														
	1		オリエンテーション システム開発手順の復習 提案型/問題解決型システム開発 システム提案書の全体像 提案立案のステップ														
	2		システム提案書の全体像 提案立案のステップ														
	3	顧名	顧客の要望														
	4	顧客信頼と顧客理解 顧客情報の収集方法(1)															
	5	顧客信頼と顧客理解 顧客情報の収集方法(1) 顧客情報の収集方法(2)															
	6	顧名	情報	设分标	斤の基	基本 ~SW	OT分析										
	7	提案ント		おけ	けるシ	ステムの見	せ方 システ	-ム概要の起	取旨で	と作成のポイ							
授業計画	8			概要	図の	作成演習					作成物が完成し こと	なければ、提出	出期限までに作成する				
	9	シス	テム	構成	図の	趣旨と作成	えのポイント										
	10	業務	タフロ	—図	とは												
	11	導力	人前第	き務っ	70-	·図											
	12	導力	人前第	き務っ	70-	図作成演習					作成物が完成し こと	なければ、提出	出期限までに作成する				
	13	導力	後第	き務っ	70-	図											
	14	導力	後第	き務っ	70-	図作成演習	[3] =				作成物が完成し こと	なければ、提出	出期限までに作成する				
	15	Web	シス	テム	時代	のシステム	提案 まと	:め									
	以上を	下記(の観	点•	割合	で評価する	5 。			を評価する。)・C(60点以	· (上)·D(59点	以下)とする	0				
				h = :			言語情報	知的技能	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
= / + >+				式験				0					60%				
評価方法			提出授業					©			0		20%				
履修上の注意	があ	る。					場合や基準		いす	場合は、減点	または補習る	たは追加説	!題を設ける場合				

科目名	ビシ	ジネ .	ス	₹.	ナー	_										
科目名(英)																
単位数		2単 ⁻	位			時間	間数	3	30時間		担当者			木村治	計	
実施年度		20204	年度	:		実施	i時期		後期	Ī	担当者実務	経験				
対象学科・学年	情報:	システ	ムキ	斗プ!	コグ	 ラミング 専	卓攻アドバン	ノス:	コース 24	年						
授業概要	ビジオ	ķスマ [.]	ナー	-の <u>‡</u>	基本	を習得し	、実践力を	具体	本的素材を	シタ	イムリーなん	テースワー	-クで!	学ぶ		
授業形式	講義	:			演	習:	実習	:	9	実技	支:	*	主たる	る方法:〇	その他:△	
学習目標 (到達目標)	書語情報		連動技能	態意欲	その他	ビジネス ビジネス	スにおけるメ	答文書	コミュニケ	- <u>-</u>	目標 も明できる。 ションが正し ションが正し ションが正し	くできる。 くできる。				
テキスト・教材 参考図書	図解:	まるわ	かり	JE	゙゙ジネ	スマナー	−の基本(新	斤星	出版社)							
	回数	ビジネスマナーとは 1分程度の自己紹介を準備しておくこと														
	1	ビジネスマナーとは 1分程度の自己紹介を準備しておくこと														
	2	ュ 基本マナー: 立ち居振る舞い														
	3															
	4	職場	マナ		仕事	事の仕方										
	5	言葉	遣し	\•請	もした	<u> </u>										
	6	言葉	遣し	\•請	もした	72										
150 Alb = 1	7	電話	応対	† 1												
授業計画	8	電話	応対	†2												
	9	FAX	- メ-	ール	•封	書の有効	 活用					作成物が完	民成した	はければ、提出	期限までに作成する	
	10	接客	と訪	問	マナ・	- ①										
	11	接客	と訪	·問·	マナ-	- ②										
	12	ビジ	ネス	文書	<u>*</u> 1							作成物が完	民成した	はければ、提出	l期限までに作成する	
	13	ビジ	ネス	文書	<u></u>								民成した	はければ、提出	l期限までに作成する	
	14	冠婚	葬务	ド ス	ナー											
	15	総論	•振	り返	IJ											
	以上を	下記の	観点	点•害	訓合	で評価す	る。				ポート提出を)・C(60点じ			ノ下)とする	0	
				b F-^			言語情報	Ž	知的技能	3	運動技能	態度•意	欲	その他	評価割合	
郭 本士注			正討		<u> </u>				<u> </u>						80%	
評価方法			受業類した					+		-		© ©			10%	
		IA 1625	<i>νη</i> ,	• !	ואנ	-									10%	
履修上の注意	出席	回数を	·授美	業態	度σ)評価に	加味する。									

科目名	,	クラウ	ナド													
科目名(英)																
単位数		2単	位		時間数		30時間		担当者		久保山:	大地				
実施年度		2020	年度		実施時期	Я	後期		担当者実務網	圣験						
対象学科·学年					・ ノステム専攻科 2 ノスコース1年、情				バンスコース							
授業概要										⁻ る。クラウド <i>0</i> の一つである		み、要素技術、 で用いる。				
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実	当:	実	 技:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語情報	知的 運				1			目標	Į						
	0	0			クラウドコンピュ	.ーティ	ングに関する基	本用語	語、仕組みを説明	月できる。						
学習目標	0	0			AWSのEC2に関	する基	基本用語、仕組織	みを説	明できる。							
(到達目標)	0	0			AWSのEC2に関	する基	基本設定、動作	確認が	できる 。							
テキスト・教材 参考図書	C	第1章 クラウドの特徴(1 クラウドとは、2 クラウドの基本特性、3 クラウド サービスモデル)														
	回数	第1章 クラウドの特徴(1 クラウドとは、2 クラウドの基本特性、3 クラウド														
	1	第1章 クラウドの特徴(1 クラウドとは、2 クラウドの基本特性、3 クラウドサービスモデル) 第1章 クラウドの特徴(4 クラウドの配置モデル、5 クラウドサービスの														
	2	第1章 クラウドの特徴(1 クラウドとは、2 クラウドの基本特性、3 クラウドサービスモデル) 第1章 クラウドの特徴(4 クラウドの配置モデル、5 クラウドサービスの														
	3		クラウ	ドの什		加理)										
	4				-組み(2 仮想(その他の技術	.)								
	-				- 組み(4 データ											
					:組み(5 クラウ 入と利用(1 ク			ンング	` ゥ クラウドビ							
授業計画	7	ジネスの	の特徴	t. 3 5	・ハミー・ハー・ファラウドとITサー 『入と利用(4 ク	-ビス ⁻	マネジメン)									
	8	徴.5 な	フラウト	の道	入検討.6 クラ	ウド道	シュスト、7 ク	フラウ	ド導入の成功							
	9	用リスク	ク、3 ク	ラウ	スクと影響(1・ 、とコンプライア	' ンス))									
	10	第4章 · ドセキ <i>=</i>			スクと影響(4	クラウ	ドベンダーとの	り契約	書、5 クラウ							
	11		クラウ		-ビスの種類(1	代表	的な商業サー	ビス、	、2 ホスティン							
	12			ドサー	 -ビスの種類(3	クラワ	 ウドストレージ	、4 日	 本のクラウド)							
	13	AWS概	要(EC		B、CloudWatc	h. Au	to Scaling)									
		EC2演								演習課題のエビ	デンスを提出す	ること。				
		AutoSc		±33						演習課題のエビ	デンスを提出す	ること。				
	(1)z 以上	└─── ナンライ ニを下訂	ン試験	験を数	副合で評価す	る。				 		重を指示する。 でる。				
						語情	報 知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
			ノライ:			0	0					50%				
評価方法			寅習記				0		0			40%				
	_		受講物	犬況						0		10%				
履修上の注意										<u> </u>						

科目名	•	インタ	!— .	ネッ	小基礎											
科目名(英)																
単位数		2単	位		時間数	t	30時間		担当者		久保山	大地				
実施年度		2020숙	丰度		実施時	期	後期		担当者実務	圣験						
対象学科•学年	4	青報シス	テム	科 24												
授業概要	是											スト(iBut)の出 式験合格を目指				
授業形式	講	義:	0	演 ²	習:	実習	:	実担	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動技能 技能	態度意欲	その他					目標	Į.						
	0	0			iBut試験で合	格点を取得	导する。									
学習目標 (到達目標)																
テキスト・教材 参考図書	Г															
	回数	授業項目•内容 授業外学修指示														
	1	インターネットの基礎1														
	2	インター	ーネッ	トの	基礎2					要点をまとめてお	S<25					
	3	インター	ーネッ	トでの	の被害1											
	4	インター	ーネッ	トでの	か被害2					要点をまとめてお	らくこと					
	5	インター	ーネッ	ト関	 連の法規1											
	6	インター	ーネッ	ト関	 連の法規2					要点をまとめてお	S<25					
	7	インター	ーネッ	ト利月	用者のモラル	レ1										
授業計画	8	インター	ーネッ	ト利月	用者のモラル	レ2				要点をまとめてお	S<25					
	9	インター	ーネッ	トのし	 _くみ1											
	10	インター	ーネッ	トのし	_くみ2					要点をまとめてお	3<25					
	11	コンピュ	ュータ	ウイ	ルス1											
	12	コンピュ	ı ータ	ウイ	ルス2					要点をまとめてお	さくこと					
	13	セキュリ	ノティ	1												
	14	セキュリ	ノティ	2						要点をまとめてお	S<25					
	15	演習														
	以」	Lを下記	の観	点:碧	実施する。 割合で評価で の点以上)・D(する。		定期	試験とみなる	;						
					į	言語情報	知的技	支能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
				(筆記		0	0					60%				
評価方法	_	出席状	況・打	受業原	態度					0		40%				
履修上の注意	F	再試験は	実施	しな	l,											

科目名	1	青幸	足 夕	0.理	計	験秋対	t策Β									
科目名(英)																
単位数		3	単位			時間数	数	50時間		担当者	川里	『啓祐・志水徿 高橋政博・』	枚·手嶋隆之· F路文徳			
実施年度		20	20年	度		実施時	期	後期	ŧ	旦当者実務	経験					
対象学科・学年						F・情報シス・ ドバンスコー					ノスコース1年					
授業概要						情報処理技 習問題を使						ベルに応じた	用語や知識の習			
授業形式	講	義:	()	演	習: △	実習	:	実技	:	※ 主#	とる方法: O	その他:△			
学習目標(到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度	その他			-			ることができる ついて説明する					
テキスト・教材 参考図書	2	10人が担ニナブンニックに担手ナルブンプロスチャロの「尚ニブ」尚ニナーマルコニューの佐田の大田は上マルノニ														
授業計画	6 7- 10 11 12- 15	IPAが 用語 確理後 確解 理解	のテいりという。	着の ト 覚えが 中心 ト 覚えが ト	た用語 に実 た用語	バスに掲載る	されている <u>顔を中心と</u> 使用する	の用語を理解 にした演習を多 演習を、基礎	実施する	る。	間違えた問題確認テストの範囲違えた問題確認テストの範囲を表しています。	節囲の復習をし	たておくこと。 実施すること。 たておくこと。 実施すること。			
評価方法	以上	こを 丁	下記(西基	か観 準は	点:	Ī	する。	以上)•B(7	0点以		ま以上)・D(59 態度・意欲	ら点以下)とす その他	る。 評価割合 100%			
履修上の注意	糸	総合言	平価:	が不	合格	の場合でも	,,再試駁	は実施した	ない。		1	<u>I</u>	<u>I</u>			

科目名	1	青幸	银久	<u>几</u> 理	姑 里	験春対	策B								
科目名(英)															
単位数		1	1単位	<u>†</u>		時間数		24時間		担当者	JII!	野啓祐・志水徿 □・高橋政博・			
実施年度		20	20年	度		実施時期	坍	後期	П	担当者実務	経験				
対象学科・学年						F・情報システ ドバンスコー					·スコース1年				
授業概要						情報処理技術 習問題を使月						ベルに応じた	用語や知識の習		
授業形式	講	義:	()	演 [:]	習: △	実習:		実技	支:	※ 主	たる方法:〇	その他:△		
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他					目標	Ę				
	0	0				試験範囲内の)専門用詞	語について	学び、	意味を説明す	よることができ	る。			
学習目標 (到達目標)		0				試験範囲内に	おける様	様々なIT技術	析に関	する仕組みて	いて説明する	らことができる。			
	各受験区分で指示があります。 回数 授業項目・内容 授業外学修指示														
テキスト・教材 参考図書	回数 授業項目・内容 授業外学修指示 1-5 IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた 用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。 確認テストの範囲の復習をしておくこと。														
		授業項目・内容 授業外学修指示 IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた 確認テストの範囲の復習をしておくこと。 用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。													
	1-5	IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた 用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。													
		IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた 確認テストの範囲の復習をしておくこと。 用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。 間違えた問題のやり直しを実施すること。													
	7- 10	一切 用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。 6 確認テスト 間違えた問題のやり直しを実施すること。 7- 理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、基礎的な難易度の午 確認テストの範囲の復習をしておくこと。 10 後問題を中心に実施する。													
			テス								間違えた問題	夏のやり直しを3	ミ施すること。		
						吾を実践的に例 施する。	使用する流	寅習を、応月	目的な	難易度の午	確認テストの	範囲の復習をし	、ておくこと。		
			テス		,,-,,	<i>3</i> 2 7 0 0					間違えた問題	夏のやり直しを事	ミ施すること。		
授業計画															
	以上	_をヿ	下記(の観	点:割	実施する。 引合で評価す 90点以上)・/		以上)•B(7	'0点以	人上)・C(60,	点以上) • D({	59点以下)とす	·る。		
						言	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
			確	認テ	スト		0	0					60%		
評価方法			受	講划	大況						0		40%		
												1			
履修上の注意	糸	総合詞	評価:	が不	合格	トの場合でも、	再試験	は実施した	ない。			1	ı		

科目名	-	一般教		ŧΠ	В										
科目名(英)															
単位数		2単位	立		時間数		30時間		担当者		畠添]	和			
実施年度		2020年	F度		実施時期	3	後期		担当者実務網	圣験					
対象学科·学年					青報システム [®] ドバンスコース					バンスコース					
授業概要	京	就職筆記 D 「SPI - D 「CAE	試験 テスト 3・G/	に関 ・」 f ABテ	して以下の対 前期から継続し ・スト」 テキス	策を 数 トに沿	行う。 学分野(未実 沿って、解説の	施 を練	子)を含め、解 習問題を行う	說&練習問題					
授業形式	講	義: (0	演	習: △	実習	7:	実担	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
学習目標(到達目標)	言語情報	知的 運動技能	態度意欲	その他	言語分野・非言	語分野	の問題に対して	解答	目標を説明できる						
	_			<u> </u>											
テキスト・教材 参考図書		1 CAB・GAB対策(その1)													
	回数	最新最強のCAB・GAB超速解法(成美堂出版) 数 授業項目・内容 授業外学修指示 CAB・GAB対策(その1) CAB・GAB対策(その2)、漢字対策(その1)													
	2	CAB·GAB対策(その1) CAB·GAB対策(その2)、漢字対策(その1)													
	4				(その4)、清 (その4)、清										
	Ŀ.				、Cのサ/ 、// B·GAB一連テ			その	04)	中間テストの範囲	囲を復習してお	(こと			
	6	CAB•G	3AB	対策	(その5)、消	草字対	策(その5)		<u> </u>						
157 41k 그 :	7	SPI数引	 学分野		対策(その1)	、漢字	<u>'</u> 対策(その6	5)							
授業計画	8	SPI数学	- 学分野	野の	対策(その2)	、漢字	<u>-</u> 対策(その7	')							
	9	SPI数学	学分 野	野の	対策(その3)	、漢字	対策(その8	3)							
	10	SPI数学	学分 野	野の	対策(その4)	、漢字	<u>'</u> 対策(その9)							
	11	SPI数学	学分 野	野の	対策(その5)	、漢字	² 対策(その1	0)							
	12	SPI数学	学分 野	野の	対策(その6)	、漢字	対策(その1	1)			と佐四していた	1.			
				•	対策(その7) AB・GAB性			•		小テストの範囲を 小テストの範囲を					
	14 15	テスト SPI数写	字分割	野の	小テスト 及び	SPI	国語分野の復	夏習.	、定期試験	7.7 人下00年6日	1 夜日 0 0 03 10	. C			
	(1)5 以上	上を下記(の観	点:	・実施する。(2 引合で評価す 90点以上)・A	る。				点以上)・D(59	点以下)とす	<i>-</i> る。			
			= 5 5 5	/ frfr =:		語情報		能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
評価方法	H	定期記	試験		3)	0	0					40%			
자, (기 씨 구급			講状							0		20%			
						-									
	_														
履修上の注意										<u> </u>					

科目名	ビジネスマナー												
科目名(英)													
単位数		2単	位		時間数	t	30時間		担当者		玉置 万理子		
実施年度		2020	年度		実施時	期	後期		担当者実務網	圣験			
対象学科・学年	悄	青報シス	テム	科 2:	E								
授業概要		ビジネスシーンに必要な名刺交換、電話応対などの基本的なマナーだけではなく、冠婚葬祭や食事の仕方な どのその場に応じたマナーを学ぶ。											
授業形式	講	義:	Δ	演	習: 0	〇 実習: 実技:			 支 :	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 運動技能 技能	助 態度 能 意欲		目標					į			
	0	0	0		社会人として相応しいビジネスマナーを理解する					ることができる	0		
		〇											
		○○○○○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□											
	_												
テキスト・教材 参考図書	2	図解まるわかり ビジネスマナーの基本(新星出版社)											
授業計画	回数				授業項目·内容					授業外学修指示			
	1	訪問の	マナ	_ ~	~好印象を与	える自		自己紹介ができ	るよう準備をする	ること			
	2			~	好印象を与	える自i							
	3	基本マ	ナー	~=	テーブルマナ	_							
	4	電話応対れ	寸	~報道	祖 ・電話応対	の基本・							
	5	~電話の受け方演習、取次ぎ方演習											
	6			~	電話のかけ	方の流							
	7			~	電話応対テ	スト	電話応対の流れを確認しておくこと						
	8			~	電話応対テ	スト							
	9	冠婚葬	祭	~	慶事のマナ	一 •贈							
	10			~	祝儀不祝儀	 袋の決							
	11			~	弔事のマナ								
	12			~	その他のマ [・]	ナー							
	13	基本マ	ナー	~4	 呂刺交換のマ	マナー・							
	14			,		复習	全体の復習をしておくこと						
	15			~	組織と人間	関係 •							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業中に実技試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
				,,		語情報		能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
			試験		己)	0	0			0		50%	
			ミ技記 受講り			0	0			© O		30% 20%	
		2	乙一円 1	ヘル						O		20/0	
履修上の注意													